

Kagaku To Kogyo (Osaka)

科学と工業

第99巻 第3号 2025年3月

目次

解説

LCA と CFP の実施方法と活用

(一社)日本LCA推進機構 稲葉 敦 … 53

キーワード：LCA, CFP, Scope3 基準

解説

使用済みプラスチックからの水素・アンモニアの製造

(株)レゾナック 別府 隆幸 … 65

キーワード：使用済みプラスチック, 資源循環, ガス化, ケミカルリサイクル,
温室効果ガス削減

解説

パナソニックグループの CO₂ 削減貢献量の取り組み

パナソニック オペレーショナルエクセレンス(株) 佐々木 秀樹 … 74

キーワード：CO₂ 削減貢献量, CO₂ 排出量, 環境貢献, カーボンニュートラル,
パナソニック

大阪工研協会会報 …………… 79

Contents

【Review】

- Implementation and Utilization of LCA and CFP
Atsushi INABA...53
- Production of Hydrogen and Ammonia from Used Plastics
Takayuki BEPPU...65
- Panasonic Group's Initiatives for Avoided CO₂ Emissions
Hideki SASAKI...74

今月号のここがポイント！

2015年のパリ協定では、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑えるという目標が共有され、現在150か国を超える国々が2050年カーボンニュートラルの実現を掲げています。多くの国々が目標から乖離しつつある中、日本はほぼ順調に温室効果ガス排出量の削減を進めている数少ない国の1つになりつつあります。本号では、脱炭素の潮流を加速する3件の解説記事をご寄稿頂きました。

1件目は、様々な環境影響を定量化する「ライフサイクルアセスメント(LCA)」および、その中でも温室効果ガスによる気候変動の影響を評価する「カーボンフットプリント(CFP)」について、基礎から最新動向まで体系的に解説して頂きました。2件目では、CO₂排出や海洋汚染等の様々な環境問題を引き起こす使用済みプラスチックを原料として、水素やアンモニア等の有価物を製造する「ガス化ケミカルリサイクル」について、LCAの結果を含めて解説して頂きました。3件目では、過去のある時点から製品の省エネ性能の改善等によって避けることができたCO₂排出量を表す「CO₂削減貢献量」について、独自の社内指標を基に国際標準化活動へと展開している総合家電メーカーの取り組みを紹介して頂きました。